



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月13日

上場会社名 日本システム技術株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4323 URL <http://www.jast.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 平林 武昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 大門 紀章 TEL 06-4560-1000
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,116	8.4	△57	—	△19	—	△50	—
25年3月期第3四半期	6,565	3.7	△74	—	△50	—	△62	—

（注）包括利益 26年3月期第3四半期 △22百万円（－％） 25年3月期第3四半期 △60百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△10.46	—
25年3月期第3四半期	△13.23	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	7,586	4,478	58.2	885.70
25年3月期	8,050	4,489	55.0	929.70

（参考）自己資本 26年3月期第3四半期 4,412百万円 25年3月期 4,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期（予想）				25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,900	7.5	400	27.3	450	26.4	225	33.2	47.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	5,345,830株	25年3月期	5,128,330株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	364,210株	25年3月期	364,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	4,809,941株	25年3月期3Q	4,753,536株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の業績は、売上高71億16百万円(前年同期比8.4%増)、営業損失57百万円(前年同期は営業損失74百万円)、経常損失19百万円(前年同期は経常損失50百万円)、四半期純損失50百万円(前年同期は四半期純損失62百万円)と、前年同期と比較して増収増益となり、概ね当初計画に沿った推移と判断しております。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業(受注ソフトウェアの個別受託開発)につきましては、通信業及び教育機関向け案件は減少いたしました。サービス・流通業、製造業及び金融・保険・証券業向け案件が増加し、売上高48億23百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益60百万円(前年同期は営業損失57百万円)の増収増益となりました。

次に、パッケージ事業(学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス)につきましては、EUC(End User Computing:パッケージの周辺システムの受託開発)、仕入販売及び大学向けPP(プログラム・プロダクト)販売が減少し、保守及び導入支援が増加した結果、売上高10億61百万円(前年同期比8.1%減)、これに加え製品開発の研究開発費が増加し、営業損失1百万円(前年同期は営業利益1億79百万円)の減収減益となりました。

次に、システム販売事業(IT機器の販売及び情報通信インフラの構築)につきましては、大学向け機器販売は減少いたしました。公共系SI(システム・インテグレーション)案件が大幅に増加し、売上高10億73百万円(前年同期比16.5%増)、営業利益16百万円(前年同期は営業損失21百万円)の増収増益となりました。

最後に、医療ビッグデータ事業(医療情報データの点検、分析及び関連サービス)につきましては、レセプト自動点検サービスに加え、通知サービス及びデータ分析等のサービス拡充により、契約を着実に伸ばした結果、売上高1億57百万円(前年同期比168.4%増)、営業損失1億31百万円(前年同期は営業損失1億74百万円)の増収増益となりました。

(当社グループの四半期業績の特性)

当社グループの事業であるソフトウェア、パッケージ、システム販売及び医療ビッグデータの特性といたしましては、顧客の検収時期が多く企業の会計期末にあたる3月に大きく集中し、次いで第2四半期末に当たる9月に集中する傾向があります。したがって、例年当社グループの第1、第3四半期連結会計期間の収益は、第2、第4四半期連結会計期間と比較して相当に少額となる特色があります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

まず、流動資産の残高は54億63百万円(前連結会計年度末比6億68百万円減)となりました。これは主として短期借入金等に伴う現金及び預金の増加並びに受取手形及び売掛金の減少の増減の結果であります。また、固定資産の残高は21億23百万円(同2億4百万円増)となりました。これは主として長期預金の預入及び投資有価証券の取得による増加であります。

次に、流動負債の残高は17億4百万円(同4億90百万円減)となりました。これは主として短期借入金の増加並びに支払手形及び買掛金、法人税等の支払による減少の増減の結果であります。また、固定負債の残高は14億4百万円(同38百万円増)となりました。

最後に、純資産の残高は44億78百万円(同11百万円減)となりました。これは主として新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加並びに利益配当金の支払による利益剰余金の減少の増減の結果であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の状況は、期首の資金残高16億9百万円より4億99百万円増加し、21億9百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、2億67百万円の収入(前第3四半期連結累計期間は2億70百万円の支出)となりました。この差額は主として売上債権及びたな卸資産の減少による増加、仕入債務及び前受金による減少の増減の結果であります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、22百万円の支出(同2億65百万円の支出)となりました。この差額は主として差入保証金の差入の減少及び返戻による増加、投資有価証券及びソフトウェアの取得による減少の増減の結果であります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、2億51百万円の収入(同1億30百万円の収入)となりました。この差額は主として株式の発行による増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景とした円安・株高を背景に、景気は緩やかな回復基調にあります。米国の量的緩和の縮小・解除観測、中国をはじめとした新興国の景気減速懸念など、国内景気の押し下げリスク要因もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

国内IT産業につきましては、直近の統計(経済産業省、特定サービス産業動態統計平成25年11月確報)において、売上高前年同月比のプラス傾向を維持しており、業界全体としては回復基調で推移しておりますが、上で述べたように景気の先行き不透明な状況を背景に、回復力はまだまだ脆弱であると認識しております。

このように足元はまだまだ厳しい状況ではありますが、当社グループにおきましては年度当初に掲げた重点施策を着実に実行し、業績計画の達成を図りたく考えております。なお、事業別には以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業においては、東京、大阪の各本社の地域別事業体制を推進しており、東京本社ではビッグデータビジネスの本格化を狙い2事業部体制に再編し、大阪本社では新規ソリューションの企画・提案部門を新設することにより、引き続き収益基盤の強化並びに提案型営業の推進に取り組み、業績の継続拡大を実現する所存です。これに加え、金融関連部門は地域別3部制に再編し、受託開発型ビジネスを継続拡大するとともに金融機関向け情報系統合パッケージ「BankNeo」の販売実績拡大に取り組んでまいります。

次に、パッケージ事業においては、関東圏及び関西圏にそれぞれ独立して設置した事業部を中心に、各地域に密着して強力にシェア拡大を図るとともに、情報端末やホスティングサービスなど最新の文教ITサービスを提供してまいります。加えて、主力プロダクトの次世代製品の開発、アライアンスの推進並びに中国国内の大学向けソリューションの販売実績獲得に向け、開発及び販売プロモーション活動を開始し、学校業務改革パッケージ「GAKUEN」を、文教市場において圧倒的ブランドとして広く認められるよう引き続き取り組んでまいります。

次に、システム販売事業につきましては、SEサービス等高収益分野の主要顧客の拡大及び新規顧客の獲得に注力するとともに、クラウド技術を利用した新ソリューションの立上げ等、新たなビジネス基盤構築にも取り組み、業績の継続拡大を図ります。

最後に、医療ビッグデータ事業につきましては、事業部長を専任化するとともにアドバイザー機能充実のため担当顧問を設置し、また、新たに当社のレセプト点検・分析システムを点検事業会社が利用できるクラウドサービスも開始し、独立事業として業績に寄与するよう取り組んでまいります。

これらを踏まえ平成26年3月期の連結業績予想は平成25年5月10日付の当初発表どおり、売上高109億円(前連結会計年度比7.5%増)、営業利益4億円(同27.3%増)、経常利益4億50百万円(同26.4%増)、当期純利益2億25百万円(同33.2%増)を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,938,177	3,349,072
受取手形及び売掛金	2,337,520	1,383,444
商品及び製品	145,160	51,573
仕掛品	291,906	409,312
原材料及び貯蔵品	3,112	3,899
繰延税金資産	194,068	161,102
その他	224,350	110,474
貸倒引当金	△3,056	△5,664
流動資産合計	6,131,241	5,463,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	550,476	551,886
減価償却累計額	△232,452	△259,908
建物及び構築物(純額)	318,024	291,977
土地	142,361	142,361
その他	240,953	251,247
減価償却累計額	△144,711	△165,100
その他(純額)	96,242	86,147
有形固定資産合計	556,627	520,486
無形固定資産		
のれん	35,338	29,102
ソフトウェア	18,563	53,602
その他	7,189	7,189
無形固定資産合計	61,091	89,894
投資その他の資産		
投資有価証券	233,938	372,558
長期貸付金	2,694	—
繰延税金資産	245,413	245,043
差入保証金	329,950	299,532
前払年金費用	115,869	127,664
その他	433,876	525,609
貸倒引当金	△60,549	△57,588
投資その他の資産合計	1,301,192	1,512,819
固定資産合計	1,918,912	2,123,199
資産合計	8,050,153	7,586,415

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	901,615	363,785
短期借入金	17,309	262,040
1年内返済予定の長期借入金	2,400	2,400
未払法人税等	154,452	11,152
賞与引当金	383,366	263,330
役員賞与引当金	24,829	23,026
その他	710,917	778,394
流動負債合計	2,194,889	1,704,130
固定負債		
長期借入金	4,200	2,400
退職給付引当金	888,617	903,570
役員退職慰労引当金	397,697	419,171
その他	75,209	79,087
固定負債合計	1,365,724	1,404,228
負債合計	3,560,614	3,108,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	924,223	990,052
資本剰余金	885,862	951,690
利益剰余金	2,865,993	2,696,581
自己株式	△266,494	△266,539
株主資本合計	4,409,584	4,371,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,414	58,876
為替換算調整勘定	△14,720	△18,452
その他の包括利益累計額合計	19,694	40,423
新株予約権	984	764
少数株主持分	59,275	65,082
純資産合計	4,489,539	4,478,056
負債純資産合計	8,050,153	7,586,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,565,408	7,116,854
売上原価	5,379,077	5,855,410
売上総利益	1,186,331	1,261,443
販売費及び一般管理費	1,260,459	1,318,450
営業損失(△)	△74,128	△57,007
営業外収益		
受取利息	7,478	9,785
受取配当金	3,726	5,371
受取賃貸料	11,420	10,982
助成金収入	2,615	19,766
その他	7,317	11,038
営業外収益合計	32,557	56,943
営業外費用		
支払利息	1,204	3,469
賃貸費用	6,075	14,524
その他	1,611	1,620
営業外費用合計	8,890	19,614
経常損失(△)	△50,461	△19,678
税金等調整前四半期純損失(△)	△50,461	△19,678
法人税等	8,046	28,834
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△58,507	△48,512
少数株主利益	4,404	1,795
四半期純損失(△)	△62,912	△50,307

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△58,507	△48,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,068	24,461
為替換算調整勘定	305	1,361
その他の包括利益合計	△1,762	25,822
四半期包括利益	△60,269	△22,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,880	△29,578
少数株主に係る四半期包括利益	4,610	6,888

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△50,461	△19,678
減価償却費	40,340	54,986
ソフトウェア償却費	6,612	9,122
のれん償却額	4,157	6,236
賞与引当金の増減額(△は減少)	△166,265	△120,035
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24,015	14,209
前払年金費用の増減額(△は増加)	6,829	△11,794
受取利息及び受取配当金	△11,204	△15,156
支払利息	1,204	3,469
売上債権の増減額(△は増加)	437,264	958,800
前受金の増減額(△は減少)	233,115	102,064
たな卸資産の増減額(△は増加)	△422,519	△24,049
仕入債務の増減額(△は減少)	△292,322	△537,995
その他	81,967	△17,050
小計	△107,266	403,128
利息及び配当金の受取額	12,224	15,828
利息の支払額	△1,204	△3,564
法人税等の支払額	△173,854	△147,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	△270,101	267,759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△26	△6,653
有形固定資産の取得による支出	△47,848	△15,605
保険積立金の取崩による収入	—	8,642
ソフトウェアの取得による支出	△2,797	△44,161
投資有価証券の取得による支出	△1,680	△101,602
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△18,788	—
差入保証金の差入による支出	△196,777	△1,186
差入保証金の回収による収入	6,072	138,420
その他	△3,383	△705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△265,230	△22,852
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	279,223	243,031
長期借入れによる収入	7,800	—
長期借入金の返済による支出	△41,687	△1,800
株式の発行による収入	4,516	131,437
自己株式の取得による支出	—	△44
配当金の支払額	△118,689	△119,104
少数株主への配当金の支払額	△478	△1,283
その他	△180	△388
財務活動によるキャッシュ・フロー	130,504	251,847
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,705	2,758
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△396,121	499,514
現金及び現金同等物の期首残高	2,015,704	1,609,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,619,582	2,109,476

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ65,828千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が990,052千円、資本準備金が951,690千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	4,429,791	1,155,698	921,161	58,756	6,565,408	—	6,565,408
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,260	—	29,812	—	33,073	△33,073	—
計	4,433,051	1,155,698	950,974	58,756	6,598,481	△33,073	6,565,408
セグメント利益 又は損失(△)	△57,932	179,704	△21,250	△174,650	△74,128	—	△74,128

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益又は損失の調整額はありません。
2. セグメント損失は連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ソフトウェア事業において、第2四半期連結会計期間に株式会社新日本ニーズ及びSafeNeeds株式会社の株式を取得し連結子会社としております。当該事象によるのれんの発生額は41,574千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	4,823,994	1,061,795	1,073,361	157,702	7,116,854	—	7,116,854
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,765	—	28,085	—	44,850	△44,850	—
計	4,840,759	1,061,795	1,101,446	157,702	7,161,704	△44,850	7,116,854
セグメント利益 又は損失(△)	60,182	△1,863	16,329	△131,655	△57,007	—	△57,007

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益又は損失の調整額はありません。
2. セグメント損失は連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントの事業区分は「ソフトウェア事業」、「パッケージ事業」及び「システム販売事業」の3事業区分に分類しておりましたが、第1四半期連結会計期間から、セグメント情報に与える金額的重要性が増したことにより、グループ内の管理手法を変更し、「医療ビッグデータ事業」(医療情報データの点検、分析及び関連サービス)を報告セグメントとして開示しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成した結果を「I 前第3四半期連結累計期間 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

5. 補足情報

[生産、受注及び販売の状況]

第1四半期連結会計期間より、「4. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、報告セグメントの区分を変更しております。なお、前年同四半期比につきましては、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後の区分に基づき算定し比較しております。

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	4,010,664	106.5
パッケージ事業 (千円)	722,786	98.7
システム販売事業 (千円)	918,411	113.3
医療ビッグデータ事業 (千円)	203,547	201.0
合計 (千円)	5,855,410	108.2

(注) 1. 金額は売上原価によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	4,825,728	102.7	1,343,934	97.2
パッケージ事業 (千円)	1,458,510	101.6	809,318	104.6
システム販売事業 (千円)	1,254,785	125.2	320,470	52.4
医療ビッグデータ事業 (千円)	84,728	26.9	201,685	74.5
合計 (千円)	7,623,752	102.3	2,675,408	88.1

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	4,823,994	108.9
パッケージ事業 (千円)	1,061,795	91.9
システム販売事業 (千円)	1,073,361	116.5
医療ビッグデータ事業 (千円)	157,702	268.4
合計 (千円)	7,116,854	108.4

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
㈱ダスキン	477,629	7.3	531,628	7.5
エヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本㈱	645,145	9.8	481,028	6.8
T I S㈱	283,204	4.3	328,329	4.6

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。